

8-4-19 I T S 専門委員会

1. 主な活動の記録

(1) 委員会の開催

専門委員会を9回（4、5、6、7、9、10、11、12、1月）開催した。専門委員会を開催しない月もE-mailを活用し、協議と情報交換を実施した（WGの月次報告、指示事項の周知・対応等）。

(2) 勉強会・活動報告会

Webセミナー方式で、年次報告会・勉強会を実施した。

自動運転やドローンに着目して、以下2名の有識者を招き、ご講演頂いた。

- ・ 群馬大学 次世代モビリティ社会実装研究センター 副センター長 小木津 武樹 様
演題：自動車の自動運転の取り組み

- ・ ドローントリビューン 代表兼編集長

村山 繁 様

演題：ドローン前提社会を実現し価値ある未来を

(3) WG 活動

a) ITSに関わる技術、施策の調査

交通・ITSに関連する新たな技術的・社会的な潮流である地方創生、まちづくり、道路防災に着目し、最新動向を収集するとともに、今後、建設コンサルタントが取り組むべき課題等を整理した。

- ・ 地方創生、まちづくりに関する今後の建設コンサルタントの役割として、総合的なモビリティ戦略の策定、スマートモビリティの導入支援、デジタルインフラの設計・構築、データ分析／予測モデル／施策評価／改善提案、地域住民との連携・コミュニケーションを整理
- ・ 道路防災に関する今後の建設コンサルタントの役割として、災害リスク評価と道路構造物設計、災害復旧計画の策定、地域特性に応じた防災計画の策定（交通制御と避難情報提供）、持続可能性と環境配慮を整理

b) ビッグデータの活用可能性検討

近年各所で取得・蓄積並びに活用が進んでいるビッグデータについて、主に交通分野に関する最新動向を調査し、ビッグデータの活用可能性を検討した。

- ・ ビッグデータを提供する各社に個別問い合わせを行い、詳細を確認し、14企業分のビッグデータカタログ（名称、データ対象者・対象車両、データの特性、サービス事例、分析事例、コンサル業務でのデータ活用可否等）を作成
- ・ カタログ掲載企業（2社）と、データの詳細を確認し、データ活用の可能性等について意見交換する会を委員会内で実施
- ・ 活用ニーズからビッグデータを逆引きできるカタログを作成

c) 持続可能な次世代モビリティの調査

新たなモビリティとその実装をサポートする法制度について、国内外の事例・動向・取組について幅広く調査を実施した。

- ・ 電動キックボードに関する最近の動向
- ・ 自動運転に関わる動向
- ・ モビリティに関わる法の動向と課題
- ・ 海外モビリティの動向
- ・ 複雑化する小さなモビリティ

2. 次年度の活動について

次年度も今年度の検討テーマを継続して検討し、以下の活動を実施する。

- ・ WGの定例的活動
- ・ WG以外のITSに関連する諸テーマの検討
- ・ 上位委員会からの指示事項への対応や関連委員会、WG等と連携した検討
- ・ 勉強会・講演会の開催

（ITS専門委員会委員長 松本 章宏）